

よいことの
ために
手を取りあおう

CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会 長 木村 博昌
幹 事 吉野 嘉晃
SAA 星 行夫
広報小 笠間 潤平
委員長

○例会日 毎週水曜日 (12:30 ~ 13:30) ○事務局 TEL/FAX (0246) 56 - 3473
○例会場 ホテルミドリ E-mail: info@iwakinakoso-rc.jp

第 3051 回 例 会 令和 8 年 6 月 10 日 (水・曇)

2025-26 年国際ロータリーのメッセージ

ゲスト

福島県骨髄バンク推進連絡協議会
いわき支部運営委員 志賀としえ様
米山奨学生 マガル・マニシャさん

ロータリーソング 我等の生業

ー今月はロータリー
親睦活動月間ですー
ロータリーの行動規範
高橋伸安 副会長



◎会長挨拶ー木村博昌会長

皆さん、こんにちは。今年度通常例会としては本日が最終例会となります。今後は委員会の活動発表やバッチの交換などになるかと思ひます。先日 6 月 5 日 (金) に新旧会長幹事会ということで、やまたまやさんと今年度の会長幹事、来年度の会長幹事の交流を深めて参りました。嵐ガバナー補佐と鈴木幹事には大変お疲れ様でした。6 日 (土) には湯本スプリングスにおいて会長杯ゴルフコンペを開催し優勝は鈴木敏広会長エレクトでした。優勝杯をお渡ししたかったのですが欠席ですので次週お渡し致します。ご参加いただきました皆様ありがとうございます。私も一年を振り返ると会長として立派に努められたかというと甚だ疑問だと思っています。吉野幹事に支えられてここまで来ることが出来ました。また、来年度以降も一会員として理事者の方やクラブを支えて行きたいと思ひます。ロータリーには、ハイカイエスカ喜んでか待ってましたまであるそうです。そして本日の外部卓話は公益財団法人日本骨髄バンクより志賀としえ様にお越しいただいております。骨髄バンクについて卓話をいただきたいと思いますので後程宜しくお願いします。また、米山奨

学生マガル・マニシャさんがお見えですので後程奨学金をお渡し致します。私の年度も残り 2 週間です。宜しくお願い致します。

◎幹事報告ー吉野嘉晃幹事

- ・次年度の分区幹事より次年度のスケジュールが届いております。
- ・いわき小名浜ロータリークラブより 6 月のプログラムが届いています。
- ・先週常磐火力様の 70 周年記念誌を回覧致しました。が欠席が多かったため今週も回覧致します。

◎米山奨学生に奨学金贈呈

本日、米山奨学生マガル・マニシャさんがお見えですので木村会長より奨学金を贈呈致します。前の方へどうぞ。



◎米山奨学生マガル・マニシャさん挨拶



皆さん、お元気ですか。皆さんが毎日元気に過ごされていることを願っています。先週の例会をお休みして申し訳ありませんでした。毎月奨学金をいただけることはとても幸せで光栄なことだと思います。今日は、私が日本で生活している不思議に思っていることについてお話をします。それは日本人が若く元気になることです。歩くのも早く食事でも魚や味噌汁、お茶と健康的な食生活のお陰かなと思っています。私も 90 歳まで長生きしたいです

◎各委員会報告

◇出席・スマイル委員会一友 武小委員長
・本日の出席状況は前頁下記の通りです。

・外部卓話、福島県骨髄バンク推進連絡協議会いわき支部運営委員、志賀としえ様を歓迎して。

木村会長、高橋副会長、吉野幹事、木幡、星、大友、菊川、嵐、鈴木 (雅)、蛭田 (剛)、清水、白坂、鈴木、阿部、弓田、斉藤、渡邊公平バストガバナー、佐久間、柏原、渡邊 (芳)、柴田、川口各会員

・前回欠席ごめんなさい。 木幡会員
・出席奨励賞ありがとうございます。

阿部、柴田各会員

◇次年度会員増強委員会より案内

ー木村博昌会長

地区会員増強委員としての連絡です。皆様にはロータリークラブ会員アンケートが届いていると思いますが、まだの方はいらっしゃいますでしょうか。このアンケートは 100 パーセントを目指しておりますので携帯からも QR コードで出来ますのでまだの方は私の方へ申し出て下さい。宜しくお願いします。

◎外部卓話



福島県骨髄バンク推進連絡協議会
いわき支部運営委員

志賀としえ 様

皆様、改めましてこんにちは。

私は福島県骨髄バンク推進連絡協議会で運営委員という立場で活動している志賀としえと申します。どうぞ宜しくお願いします。私の出身は宮城県仙沼で両親は漁業を営んでいて 3 人姉妹の末っ子で 3 人の中で 1 番健康的な娘でした。高校まで気仙沼で仙台に出て仙台市交通局の観光部門のバスガイドをしており、このいわきにもお客様を乗せてご案内をしたことがありました。バスガイドをして 3 年半過ぎたところ風邪をひいたことがきっかけで病院で血液検査をしたら数字がおかしいとなり、総合病院を紹介されそこで骨髄検査をしたところ、私は平成 5 年 12 月に 22 歳で発病し急性骨髄性白血病と診断され、抗がん剤治療を繰り返し、平成 7 年 9 月に骨髄移植を受けて元気になることが出来ました。私にとって骨髄バンクは、未来の人生を繋いでくれる「命の架け橋」となりました。そして、同じく骨髄移植で元気になった志賀正弘さんと出会い、平成 13 年に宮城からいわきへと嫁いできました。移植後、骨髄バンクのボランティアを始めてから 30 年になりますが、現在では骨髄バンクに登録してくださる方の伸び率が低くなっており、移植を望む患者さんの半数ほどしか移植を受けられない状況にあります。そのために、骨髄を提供してくださるドナーの方の提供環境を整えていかなければなりません。ドナーは提供を終えるまでに 7 回前後の通院が必要になりますのでその休みをドナー休暇制度という形で、会社で導入して頂いたり、誰かを救うための行動へのご理解を頂きますように宜しくお願い致します。



出席状況	正会員数	41 名	カード出席	2 名
	本日出席会員数	31 名	本日の修正出席率	82.50 %